

[成果情報名]ブドウ「甲州」の醸造向け推奨系統候補 KW06 の特性

[要約]ブドウ「甲州」の醸造向け追加推奨系統候補 KW06 は、推奨3系統（KW01、KW02、KW05）に比べて収穫期が4～7日早い。果実は高糖度であり、つるひけ症状の発生が少なく多収である。ワインは、柑橘系の香りがあり、味わいはやわらかい。

[担当]山梨県果樹試験場・育種部・醸造ブドウ育種科・三森真里子

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

ブドウ「甲州」では、ワイン品質や栽培性に優れた醸造向けの系統を選抜するために、平成18年度からワイン酒造組合とともに県内から収集した8系統について特性調査を行ってきた。これまでに、先行して検討した5系統から3系統（KW01、KW02、KW05）が推奨系統（以下、推奨3系統）に選定された（平成29年度成果情報）。引き続き検討した2系統（KW06、KW07）のうち、優れた特徴がみられたKW06について、栽培特性やワイン特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. KW06 は、推奨3系統と比べて生育が早く、収穫期は4～7日早い（表1）。
2. 果房重は385g程度となり、収量は推奨3系統の中で最も多いKW02と同程度の2.7t/10aである（表1、2）。
3. 果実の糖度は18.3°Brixと高く、推奨3系統の中で最も高いKW05と同程度である（表2）。
4. つるひけ症状の発生は、年による程度の差はあるが、いずれの年も推奨3系統の中で最も少ないKW05と同程度である（図1）。
5. ワインは、KW01のような柑橘系の香りがあり、味わいはKW02のようにやわらかい（表3）。

[成果の活用上の留意点]

1. この成果は、果樹試験場（山梨市江曾原、標高440m）において、棚仕立て短梢剪定H型整枝（101-14台）の樹齢7～9年生における結果である。
2. 酸含量7.5g/Lに達した日を目安に収穫し、果実調査および試験醸造を行った結果である。

[期待される効果]

醸造向け追加推奨系統候補 KW06 の特性が明らかとなり、「甲州」を栽培し、醸造する際の参考資料となる。

[具体的データ]

表1 「甲州」KW06の生育・栽培特性(2017~2019)

系統番号	発芽日	開花日	満開日	果粒軟化日	収穫 ^z	収量 ^y (kg/10a)
KW06	4/20	5/29	5/31	8/7	9/17	2,724
KW01(推奨)	4/21	5/31	6/3	8/9	9/23	1,900
KW02(推奨)	4/20	5/30	6/1	8/10	9/24	2,704
KW05(推奨)	4/20	5/30	6/1	8/8	9/21	1,728

※果樹試験場(山梨市江曾原:標高440m)、棚仕立て短梢剪定栽培、樹齢7~9年生(推奨系統は10~12年生)

z)酸含量7.5g/L以下になり、果実調査をした日

y)腐敗果やつるひげ症状が発生した果粒を除いた実収量

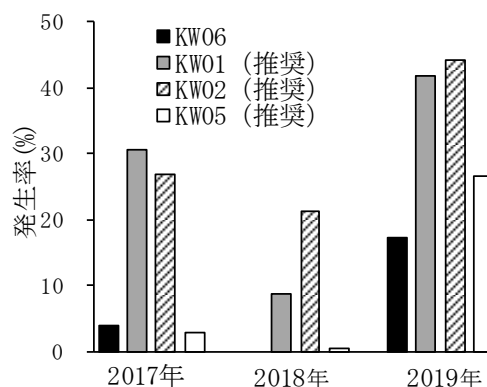


図1 「甲州」KW06のつるひげ症状の発生率(2017~2019)

果房(2019年は軸で判定)の30%以上につるひげ症状が発生した果房の割合

表2 「甲州」KW06の果実・ワイン品質(2017~2019)

系統番号	果実				ワイン ^z				
	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (°Brix)	酸含量 (g/L)	アルコール (%)	エキス (%)	酸含量 (g/L)	pH	総フェノール ^y (mg/L)
KW06	385	5.0	18.3	6.8	11.4	1.9	7.5	3.17	263
KW01(推奨)	345	4.8	17.5	6.6	11.3	1.9	7.3	3.09	298
KW02(推奨)	424	4.7	16.8	6.9	11.5	2.0	7.3	3.08	248
KW05(推奨)	266	4.5	18.1	7.3	11.5	2.0	7.9	3.06	357

z)2017~2018年はメルシャン(株)で製造、2019年は果樹試験場で製造

y)2019年のデータ

表3 「甲州」KW06のワイン特性(2017~2019)

系統番号	評点 ^z	特徴 ^y
KW06	12.7	柑橘系の香りが華やかであり、KW01に似ている 味わいはフルーティーでやわらかく、KW02に似ている
KW01(推奨)	13.5	柑橘とエステル系の甘い香りがある 酸に由来する骨格は中程度である
KW02(推奨)	13.0	香りはやや大人しい 甘い香りと酸のバランスが良くやわらかい印象がある
KW05(推奨)	12.0	ピーチや焼いたリンゴなどの甘い香りがある フェノール系の成分が多く、骨格がしっかりした複雑な味わいがある

z)のべ265人による官能評価の総合点(外観:0~2点、香り:0~6点、味わい:0~8点、ハーモニー:0~4点の合計点)の平均

y)KW06は山梨県ワイン酒造組合技術部会による評価(2019)、推奨3系統は平成29年度成果情報からの抜粋

[その他]

研究課題名:導入主要品種系統の特性調査、「甲州」優良系統の特性調査

予算区分:県単・国委「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」

研究期間:2017~2019年度

研究担当者:三森真里子、渡辺晃樹、雨宮秀仁、向山佳代、太田佳宏、富田 晃